

平成20年(2008年)4月1日発行

新入生諸君、日本工業大学へ入学、おめでとう。これからの大学生活を送るキャンパスに立って君は何を感じたのだろうか。ふり注ぐ太陽の光、頬に吹く風は、諸君に何を呼びかけているだろうか。新しいステージで、諸君はこれからの4年間に、どんな期待を寄せているだろうか。

私は、君の人生の節目であろう今このときを、新しいことを始める絶好のチャンスとしていたが、君の新しいチャレンジを応援する準備があり、また、出会う仲間、教員、先輩、そしてキャンパスを歩きながら見かけるもの、そのいずれもが新鮮なインパクトを与えてくれるだろう。いままで試みていないことに挑み、話したくないタイプの人物と対話を試みてみよう。新しいスポーツを始めるのもよし、自

新入生に贈る言葉

新しいことを始め、 新しい自分を見つけよう

分の専門とは異なる分野のサークルに顔を出すもよし。その中で是非、今まで自分自身でも気がつかなかった可能性を見いだしてほしい。工学を学び、創造的なエンジニアをめざすのであればこそなおさら、枠を超え、領域をまたぎ、異分野とつながる楽しさを、学生時代に体験していただきたいと思う。なぜなら、目の前にありながら、だれも組み合わせることとを考えたことがなかったAとBを組み合わせるとき、創造的な仕事が生まれるというところは、工学の特長であるといえるからだ。鉄の棒とコンクリートを組み合わせ鉄筋コンクリートをつくり高層建築を、プラスチックとガラス繊維を組み合わせて強化プラスチックとし、高速船を可能にしたのも発想だ。携帯電話とカメラを組み合わせる発想は、人々をアッと驚かせ、そして急速に世界中に広まった。

逆に、つまらないのは、この技術は、この道具は、これに使うもの、これとこれの組み合わせは変えようがないのだと思うこと。この先生には、このことしか相談できない、というの、寂しい発想だ。この発想からは、残念ながら何も新しい物は生まれえない。そして、最もいけないのは、自分はこういう人間だ、自分の能力はここまでだと決めつけてしまうこと。それは、自分の可能性を自ら閉ざしてしまふ結果しか生まないのは明らかだ。日本工業大学は、君を変え、君の可能性を拓ける、いろいろなもの、仕組みをして人との出会いで満ちあふれている。最新の研究装置は、君のこれまでの技術観を一変させるかもしれない。工業技術博物館の我国産業黎明期の機械類は、君に新たなアイデアを生み出すきっかけを与えてくれるかもしれない。



学長 柳澤 章

諸君の夢を形にすることができる物づくりのワークショップであるスチューデントラボは、いつも君の訪問を待っている。そして、じっくり取り組む学びの仕組みとしての工房は本学の他大学にない特色だ。クラブ、サークルも多彩だし、バンドの練習を思い切りできるスタジオだってある。やりたいものが、そこになければ自分たちで作ってしまえばいい。また、ともに学ぶ留学生は、アジア、欧米、アフリカからとさまざま。彼らの生活ぶりから、君は多くを学ぶだろうし、外国に一生の友を得ることもできる。諸君には、本学がこれまで築き上げてきたこの素晴らしいキャンパスで、日本工業大学の多様な面に触れながら、新しい自分を見つけ、豊かなエンジニアに育っていただきたい。健闘を祈る。

学びの道はガイダンスから始まる



副学長 教務部長 渡辺 勝彦

多くの新入生の皆さんには、オープンキャンパスでお会いしました。この春、皆さんをお迎えできるのは、嬉しいことです。初めての皆さんも、どうぞよろしく。季節は、梅から桜、華やいできました。陽射しは暖かく、希望の季節。木々が芽吹き始めました。宮代キャンパスでも先輩の若者が巣立ち、代わって皆さんが学びの仲間に加わりました。大学は、学園101年目のこの春、実学の精神を受け継ぎ、実工学の教育をさらに展開する計画を進めています。体験に基づいた学習はこれからも大事です。皆さんは、実験実習でまず手を動かして下さい。建築の分野でも手を動かしてスケッチしていると、アイデアが生まれます。そして、講義で理論を聴いて下さい。

まずは、ガイダンスを必ず聞いて下さい。続いて、フレッシュマンセミナーが始まります。皆さんが着実なスタートを切れるように案内します。大学では授業を受けて単位を取得してゆきます。無理なく学習ができ単位が取得できるのは、1学期(セメスター)で履修申告できるのは23単位までとされています。順調に卒業するには、3年次終了まで各セメスターに20単位を修得することが望ましいのです。

入学してから1年半の間、専門分野をこれから学ぼうとする、普通科などからの皆さんは、工学集中コースで、工学の基礎を身につけて下さい。実験実習経験のある工業科からの皆さんは、工学発

展コースで、学習をさらに深めてください。同時に、数学や英語を補って下さい。専門科目と関係つけた融合科目で学びます。カリキュラムに挑戦して下さい。2年次には、進むコースを選ぶこととなります。そして、3年次から4年次へ進級するには、卒業研究の着手条件という大きな関門をクリアしなければなりません。このように単位を修得すれば、4年次に卒業研究に取り組みることができ、大学らしい学修を体験することができ

4年以上在籍し、124単位以上を修得すると、卒業です。124単位以上の内には、必要な必修科目・選択必修科目・選択科目の単位数を含むこととなります。詳しくはオリエンテーションでよく聞いて下さい。まずは出席することです。残念ながら志半ばでやめてしまおう人がいますが、ほとんどの場合大学へ来ないだけです。他人と違う取り組みのなかで新しい工夫を重ね、皆に幸せをもたらす世界を切り開いてほしいと願っています。

テーマ：キャンパス整備速報 BEMS導入工事・百年記念館前の道路整備・W6棟改装(デザインファクトリー化)



整備された「百年記念館」前の道路 W6棟のデザインファクトリー化

BEMS導入工事
平成19年度NEDOの建築物高効率エネルギーシステム導入促進事業「BEMS(ビルエネルギーマネージメントシステム)導入支援事業」に申請し、採択された。工期は平成19年9月～平成20年2月。従来の中央監視設備の老朽化と能力不足を解消するとともに、電力、ガスの消費量を減少させ、更なる省エネ化を目指す。計測器増設により、エネルギー消費状況を細かく計測する事が出来、運転管理や分析も容易になった。今後3年間NEDOに対して実績を報告するとともに、NEDO主催の成果発表会にも発表参加の予定である。

百年記念館前の道路整備
平成19年9月の百年記念館竣工にあわせて実施した。雨水排水路の整備も兼ねており、側溝サイズを拡大して排水機能を大幅に改善。また、従来は道路の段差により道路幅を有効に使えない状況であったが、今回の工事によって、段差の無い平坦な道路に改良された。

W6棟改装(デザインファクトリー化)
建築学科棟北側にあるW6棟の一部約120㎡を新学科設立に向けて改装し、木工作业が出来る「デザインファクトリー」とする。建築学科足立講師の設計によるもので、3月初旬には試運転検査が行われ、新年度からの授業に活用される。多くの学生の手による独創性あふれた家具の製作が見られることとなるであろう。

専門職大学院だより 「新入生を迎える言葉」

改善されたカリキュラムで

力をつけてほしい



大学院技術経営研究科 研究科長 村川 正夫

本大学院では、本年3月22日に無事第3期生の学位記授与式が執り行われた。そして、4月3日には、意欲に燃える第4期生を新たに迎えることとなる。本大学院は、特に中堅・中小企業における実務経験(専門職)の学位が得られるようにしていることが特筆

育にターゲットを絞って技術経営(MOT)を学習してもらおうことを建学の理念としている。そのための配慮は種々あるが、中でも1年間集中的、効率的に勉強することで、技術経営修士(専門職)の学位が得られるようにしていることが特筆

される。これは皆様のよう、に極めて多忙な社会人に入学を決意してもらったためのキーポイントの1つと考えたためである。企業におけるキャリアを中断することなく学べるように、授業形態は、平日は夜の6時30分からの夜間学

習、土曜日は午前9時から全日学習としている。カリキュラムについては皆様の実務に役立つよう中小企業技術経営、プロジェクトマネジメント、新事業創造・起業の3コースを設けている。学生はいつでも自分のコースに所属してもら

が、コースの縛りはゆるく、中堅・中小企業のMOTについて体系的・総合的に学習することが可能である。何故、入学の皆様特にMOTを体系的・総合的に学んでいただきたいのか。現在日本経済再生に求められているのは、中堅・中小企業が有する優れた技術を実際に商品として市場に売り出すためのいわゆる「技術経営力」を駆使し、これらのユニークな技術の開発を促進させることにある。大企業は、リスクの大きいユニークな技術開発や、ナンバーワンのシェアを獲得できるニッチ分野の技術開

発などが苦手であると思う。このような分野でこそ、技術経営力を発揮して、リスクに立ち向かうチャレンジングな中堅・中小企業経営者の出現が求められるのである。かくして、「技術経営力」が真に求められるのは、まさに中堅・中小企業であると信ずる。本年度は開校後3年を経たので、カリキュラムも卒業生の声・希望を大幅に取り入れ改善したものとされているので、きつと4期生の皆様に満足していただけているものと考えている。どうか十分学ばれ、力をつけて卒業されんことを希望します。

入学おめでとう

新入生を迎える言葉

文系の基礎的素養にも留意を

諸君、晴れてのご入学、まことにおめでとうございませう。本学園は、昨年、創立百周年を迎え、新たな時代の第一歩を踏み出すことに因んで、学習環境を整備充実致しました。

その第一は、新時代に相応しい《図書館・情報複合施設》の開設。第二は、実質的な学園創立の地・東京神田に、中堅・中小企業の技術経営に役立つ高度な専門知識を習得する



理事長 大川 陽康

《専門職大学院》を設置したことであり、

とくに前者は、学問をするうえで基礎となる先人の知識や見識を学ぶ重要な装置。いまの大学生は読書の習慣が希薄で、学力低下が指摘されますが、読書は論理的な思考や他者とのコミュニケーションをはかるための表現力を身につける最良の方法。ぜひこの施設を多用して、真に社会に役立つ学力を身につけて下さい。

さらに私が強く希望したい事柄は、いま人類が最も必要視している環境対応の「ものづくり」

技術開発への眼差し。本学は、大学ではいち早く大がかりな太陽光発電装置を導入し、加えて全学で「国際環境規格ISO14001」を取得するなど、研究開発の基盤整備に取り組みしております。それらの点を勘案して、ぜひ学習や研究に役立てて下さるよう、望んでいます。

ところで、昨今はBRICS(ブリックス)つまりブラジル、ロシア、インド、中国の躍進。加えて韓国・台湾などの追い上げで、これまで高い技術を誇っていた我が国は、厳しい現実に直面しております。しかし資源に乏しい我が国の生きる道は、依然、世界の市場が受け入れてくれるような製品を、次々に開発生産していく他ありません。そのためには製品に裏打ちされた高い性能や手わざも当然ながら、エンジンといったことも消費者がどのような製品を希求し、それらの製品が社会的に如何なる意味合いをもつかを見定める見識や倫理観を持ち合わせないと、国際的な競争に勝ち抜く力にはなりません。それゆえ諸君も、専門知に加えて人文系の基礎的素養ぐらゐは、何としても学んでおかなければなりません。どうかその点を胸に刻んで今後の学習に取り組んで下さい。ご健闘を祈ります。

学生支援部長からのメッセージ

1年後の自分像を描こう



学生支援部長 梅崎 栄作 (機械工学科教授)

新入生諸君、入学おめでとう。

諸君は、これから過酷な大学生活に期待と不安を持って本学に入学して来たかと思ひます。

これから始まる大学生活は、高校までの生活と大きく異なります。

せん。履修する科目も自分で決めなければなりません。大学から諸君への連絡も、たいいてい掲示板で行われ、それに対してどう対応するかは自分で決めなければなりません。時間に余裕があれば、アルバイトをするのも自由です。

このようなことから、大は、自分の意思で、いろいろろなことを決めなければならぬことと云えます。

高校までのように、先生の指示で行うことは、授業を除き、ほとんどありません。断基準は、いろいろ考えられますが、ここではその一

つを提案します。それは、1年後に、どんな自分でありたいかを設定し、それに向かっていろいろ活動しながら行動するということと云えます。本学は、卒業時点で、さらには社会人としてどうありたいかを考えられるのではないですか。

「いろいろなものに興味や関心をもつようになっている」といふことが考えられますか。例えば、「多くの友人ができて」「サークル活動に夢中になっている」といふことが考えられますか。

1年後の自分像として、できるだけ、これまでの自分とは違う、新しい自分を見つめるものを設定し、大学生活を有意義に過ごしてください。

学科主任からの励ましの言葉

将来像を描こう

機械工学科主任教授 古閑 伸裕



機械工学科は、諸君らのご入学を心から歓迎します。機械工学科は今年から大きく進化します。それは、日々進歩する機械工学のそれぞれの分野を網羅する専門分野の教育が受けられる3つのコースが新たにスタートし、それぞれのコースで、諸君らが望むそれぞれの専門分野を、最新鋭の教育施設を利用して、思う存分勉強できるようにするということです。

まず自分の将来像を描くことが必要です。すなわち、自分が将来就きたい職業が想定できれば、この目標を達成するためにどのような分野の科目を勉強すればよいか、自ずと分かってくると思います。大学のこの時期に、自分の将来像を思い描いてみてはいかがでしょうか。

若い力

電気電子工学科主任教授 高橋 明遠



入学おめでとうございませう。これからの大学生活に期待が膨らんでいることと思います。皆さんには、若さという大きな力が備わっています。「若い」には躍動感や期待感、新鮮さや未来につながる力の響きが感じられると同時に柔軟性があり、困難を乗り越えられる力が秘められています。

若い力を発揮するには生徒から学生への飛躍が必要と云えます。先生方は、その学びの心に応えてくれる力があります。自らを信じて大いに励んでください。先生方は、その学びの心に応えてくれる力があります。

他人の痛みがわかる人間に

建築学科主任教授 成田 健一



新入生のみなさん、入学おめでとう。皆さんを心から歓迎します。建築とは単なる「モノ」を作るものではありません。そこに住む人を幸せにし、人々の繋がりを育む場を握る、それが建築家に求められる職能です。そのためには、住む人の「痛み」がわかること、家族をはじめ

は、まさに設計する「人」次第。答えは決して一つではないのです。大学の意味は、歴史や文化に触れ、また多くの人と出会い、感動を通して皆さんの人間としての「総合力」を高めることにあります。どうかそのことを忘れず、これからの4年間を過ごしてください。

好奇心を大切にしておいて大学生活を過ごそう

システム工学科主任教授 星野 坦之



入学おめでとう。期待や夢を抱いて入学されたことと思います。大学での大切なことに、講義、ゼミ、実習などを通して、知識、技術、手法を身に付けること

楽しみましよう。4年間というのは、長いように思われますが、経つてみると短いものです。しっかりと目標を持って過ごして欲しいと思います。大学は、学園創立から100年余、学

考え、積極的に行動を

情報工学科主任教授 片山 茂友



新入生の皆さん入学おめでとう。期待と不安の入り混じった気持ちで入学式を迎えたのではないかと思います。大学で学ぶにあたり皆さんにお願いしたいことが三つあります。

勉強会でもよし、何かの集まりに積極的に参加することを勧めます。物事は一人で考えるよりも、友人との会話や議論を通して学ぶことの方がより良いように思います。最後に、大学の授業は無

自立した社会人になろう

共通教育系主任教授 寺尾 裕



新入生の皆さん入学おめでとう。皆さんは、何かをするに当たって、結果やその責任は、誰かが手助けしてくれたり、最終責任を引き受けてくれたりすることも、まああったと思います。しかし、これからはそれらすべてが、自分から振りかかってきます。結果や将来を予想

生に聞いたり、学習支援センターや英語教育センターなども大いに利用しましょう。また、今年から、「新入生のみなさんへ」という小冊子も用意されましたので熟読して活用してください。大人としての自覚を持ち、自立した社会人となるよう4年間しっかりと基礎を固めましょう。

「知」を深め、「人と情報の交流の場」として多彩な機能を持つ

LCセンターを活用しよう



写真は左から図書閲覧室、映像学習コーナー、雑誌ライブラリー

■LCセンター利用ガイド

- LCセンターに入るには.....
学生証、職員証をカードリーダーに挿れて、ゲートをお通りください。
- LCセンターで図書を開覧するには.....
開架書庫と集密書庫の図書を自由に閲覧できます。その図書を借りることもできます。

- インターネットを使うには.....
自分のノートパソコンや常設パソコンを使用することができます。
- DVDソフトを見るには.....
視聴機器のメニューを見てタイトルを選び、視聴できます。
- 自習や自由研究には.....
カフェテリアでインターネットやパソコンを使い、友人とともに学ぶことができます。



先輩の体験談も聞くことができます。

先輩の体験談も聞くことができます。LCセンターには、先輩の体験談も聞くことができます。LCセンターには、先輩の体験談も聞くことができます。LCセンターには、先輩の体験談も聞くことができます。

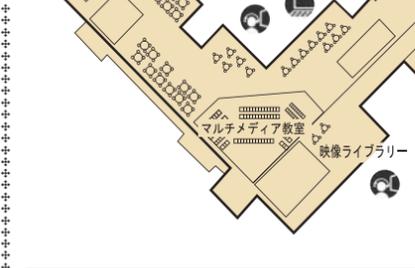
就職活動の心構え

フリーターやニートの増加と新卒社員の高い離職率。今、深刻な社会問題になっている。この原因は、将来に向けて目標設定が出来ないなど自己理解の不足、職業に対する認識不足などによるものである。この深刻な社会問題に対して、自分という人間を知り、職業に対する認識を深めていく。キャリアガイダンスに参加した学生と参加しなかった学生とでは、就職活動の取組み方や姿勢に大きな差が出てくる。キャリアガイダンスに多く参加した学生は就職意識が高く、就職活動を早くから行い、早く内定をとっていた一方、あまり参加していなかった学生はなかなか内定をとれなかったということがある。今後はキャリアガイダンスをベースに、就職支援を実施していきたい。

新入生・2年生諸君においては、「就職意識を高めるための土台作りは充実した学生生活を送ることが第一」であることを是非とも知ってもらいたい。

学内において、学内LANを利用した「就職支援システム」により1・2年生も本学に求人のある企業を検索できるので、大いに利用して欲しい。

就職支援課長 吉見健二



電子ジャーナルの閲覧方法

LCセンターでは洋雑誌を中心に「冊子体」から「電子媒体」への切替をしており現在350を超えるタイトルを電子ジャーナルで購読している。バックファイル(概ね過去5年分)のなかには、創刊号から利用可能なものもある。

LCセンター図書館ウェブページで「情報検索」をクリックするとABC順タイトル一覧があり、雑誌タイトルは出版社等のサイトへリンクされる。データは概ねPDF、HTMLで提供され、出版社によっては著者名等での論文検索も可能。アクセスは学内からのみ。利用上の注意を守って活用いただきたい。

LCセンター(ライブラリーアンドコミュニケーションセンター)は、キャンパスの東南方向にひと際際高くそびえるガラス張りの建物、「百年記念館」の中にある。この「百年記念館」は、学園創立100周年記念事業の一環として建設されたもので、昨年10月に開館しました。LCセンターは、その名の通り「図書館」と「学生のコミュニケーションの場」としての機能を果たしています。

LCセンターの6つの入口は学生証(ICカード)をカードリーダーに読み取ることによって開扉します。LCセンターに来るときは学生証をお忘れなく。正面入口から奥に向かって「学習コーナー」に設置されている34台のパソコンにはMS・Office等の基本的なソフトがインストールされているとともに、全てがインターネットに接続されています。ログインするには学生全員が発行される学内ネットワークのメールアドレス(ID)とパスワードを使います。センター内には情報コンセントや無線LANのアンテナが死角なしで整備されているので自分のパソコンを持ち込んでインターネットを利用することができます。

「映像学習コーナー」では教育用映像ソフトや映画・ドラマのDVDやVTRの映像資料の視聴ができます。多くのDVDはビデオ・オーディオ方式になっていません。カフェテリアは仲間との歓談や勉強疲れを癒すためのスペースで、軽食を楽しむことができます。

マルチメディア教室は145の座席を備え、各種メディアを駆使しての授業を展開する教室ですが、スポーツイベントのTV放送などを大スクリーンに映して観戦するパブリック・ビューイングを企画しています。2階から8階は20万2千冊の蔵書を持つ図書館施設です。大学では自学自習が基本。図書館を大いに活用してください。

学修支援センター
センター長 有賀 幸則

学修支援センターでは、数学・英語・物理・専門科目の先生に相談できます。また、大学生活を送るうえで必要な事、困った事、全ての相談窓口です。学科・学年を越えて、多くの学生が訪れるので、新しい出会いのきっかけもできます。お昼休みも開いているので、どうぞ気軽に寄ってください。

学生支援課
主任 入山 明美

学生支援課は、ロッカーや拾得物の扱い・構内乗り入れ自転車の登録・学生証の再交付・学割証の発行等の他に、奨学金をはじめあらゆる学生生活に関する事を扱っています。困ったことや分からないことがあったら、学生支援課員に気軽に声を掛けてください。

教務課
課長 栗本 収

教務課では、学生諸君が授業を受ける際の履修登録や成績に関するサポートを行っています。これらの手続きは大変重要なものです。特に注意を払うよう普段から心がけてください。各種証明書の発行等も行っていきます。どうぞ積極的に教務課を活用してください。

窓口紹介

このコーナーでは、皆さんが常日頃接する機会のある窓口と担当者を紹介します。はじめはちょっとドキドキするかもしれませんが、皆、親切に対応してくれます。どうぞ気軽にご利用ください。皆さんが早く大学に慣れ、充実したキャンパスライフを送っていただけるよう願っています。

サービスセンター
管理部部長 佐藤 誠

サービスセンターは、できるだけ価値の高いサービスを学生の皆様に提供していくことを目的としています。業務は広く、学生食堂、文具・書籍販売、コンビニ、カフェテリア、アパート斡旋、保険代理店、学内清掃、警備等の各部門があります。是非ご利用ください。

LCセンター
センター長 椋田 實

新入生のみなさん、LCセンターにおいてください。このセンターは大学での研究・学習活動と学生同士の交流の場。図書・参考資料に加えて、ネットワークを活用するためのパソコン、映画など映像メディア、カフェやセミ室、マルチメディア教室など、さまざまな目的で自由に活用してください。

スチューデントラボ
所長 宮澤 肇

スチューデントラボは、全学科・全学年の諸君に夜8時まで開放されている「ものづくり」の殿堂です。機械・電気・木工機械や道具を取り揃え、親切な指導スタッフが諸君の来訪を待っています。個人での利用も大歓迎。授業の中で色々作ってみたい君には「ものづくり入門工房」をお薦めします。

健康管理センター
センター長 城戸 卓男

健康管理センターでは、看護師が応急処置・健康相談に常時応じています。また、毎週金曜日(15時~17時)校医による健康相談も実施しています。頭痛・腹痛といった身体的な事や心配・悩み事等で体調がすぐれない時は気軽においでください。尚、プライバシーは厳守致します。

学生相談室
相談員 川合 耕一郎

学生生活の中で生じてきた悩みや課題はつらくて孤独なものです。自分自身を見直し、成長させてくれる大事なきっかけでもあります。相談員と話し合いながら、感情や考えを言葉にして整理していくことで、問題解決や発展の糸口をみつけることができます。お気軽に相談室の扉を叩いてください。

就職支援課
課長 吉見 健二

学生諸君が卒業後希望する職業に就けるかどうかは人生を左右する重要なことです。就職支援課では、1年生から「充実した学生生活を送るためにどうすればいいのか、将来どんな職業を望むのか」等について支援しています。進路について相談したい時は就職支援課員に気軽に声を掛けてください。

用度・管財課
課長 倉島 清隆

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活が有意義なものとなりますことを心よりお祈りいたします。用度・管財課の主たる業務は、授業や実験等で使用する物品の調達と建物・設備等固定資産の帳簿管理です。皆様の見えないところで大切な業務を行っています。

経理課
主任 磯 雄二

ご入学おめでとうございます。経理課は、皆様からの学費の収納業務、現金の出納(セミナーハウス・学友会館等)を行っています。又、学費の延納手続きも取り扱っておりますので気軽にご相談下さい。窓口は午前9:00から午後4:00(昼休みを除く)までオープンしています。

総務課
課長 林 祐司

新入生諸君、ご入学おめでとうございます。本学での勉強や課外活動、また学生生活を通じての飛躍を期待いたします。さて、総務課では①学友会館に関する事。②後援会に関する事。③施設の時間外の使用に関する事などを担当しています。気楽にお立ち寄りください。

英語教育センター
センター長 岡田 修身

新入生諸君、入学おめでとう。本センターは本学で学び、さらに世界に飛躍するものづくり技術者の英語を学ぶ場として開設されています。初歩の英会話からビジネス英語まで、経験豊かな専任スタッフや外国人の先生が待機しています。勉強に相談にいつでも気軽に入室してください。歓迎します。

リマークブル スチューデント

2008年3月5日

Table with 4 columns: 学年 (2年生, 3年生, 4年生), 学科, 氏名 (出身校). Lists award recipients across various departments like Mechanical, Electrical, Building, and Information Systems.

日本工業大学学業奨励奨学金受給者

(新2年生・3年生・4年生)

平成20年度の日本工業大学学業奨励奨学金が決定した。本奨学金は、平成17年度入学生から適用されているもので、年間を通じて学業成績・人物ともに優秀な学生に給付される。3年目となる本年度は、新2年・3年生・4年生、計150名が採用された。

エクセレント スチューデント

2008年3月5日

Table with 4 columns: 学年 (2年生, 3年生, 4年生), 学科, 氏名 (出身校). Lists excellent students across various departments.

高次大連携事業の推進 本年度の抱負と予定 平成19年度、新たに始めた高次大連携プロジェクトによる協定校は、目標の50校を上回り56校に達した。本年度も関東周辺の高専学校を中心に、70校との協定を目指していきたい。



ホストファミリーと食事をする楽しいひととき

夏期休暇を利用する 英会話カナダ 特別セミナー

英会話カナダ特別セミナーも23回を数え、着実に成果を上げています。多感期を海外で短期滞在することは、かけがえのない実体験として深く心に刻み込まれることである。

「内容」 一般家庭にホームステイしながらUBC(ブリティッシュコロンビア大学)に通学、午前中3時間の授業を受け、授業は英語教育の資格を持った教員が担当し、さらに屋外授業やカルチャール・アシスタントと呼ばれる教育スタッフによるアクティビティが組み込まれている。

人事異動 (任用) (4月1日付) 菊地信一教授(共通教育系) 昭和27年7月15日生まれ。昭和52年早稲田大学商学部卒業。前日本工業大学建築学系非常勤講師。

友達を多く作り、大学生活を充実させよう システム工学科3年 清水裕章 (栃木県立宇都宮工業高等学校出身) 日本工業大学を4年間の学び舎として過ごしていきま

渡邊君が学会講演会で 優秀発表賞受賞 強度評価シミュレーションで優秀発表賞を受賞した。本賞は優秀な講演をした学生1名に与えられるもので、講演論文題目は「落下衝撃を受ける液体内包プラスチックフィルム袋の変形」。

「単位認定」 英語の正規科目として2単位取得可能 「対象」 1年〜4年生 「期間」 8月10日(日)〜9月2日(火) 「説明会」 4月11日(金)・24日(木) いずれもお昼休み12時30分、英語教育センターにて

「参加受付」 参加希望者は履修申告を行うとともに「英会話カナダ特別セミナー」参加申込書」を英語教育センターにて提出。

文部科学省より、平成19年度私立大学等研究設備整備費等補助金(私立大学等研究設備整備費)の交付決定通知があった。概要は次の通りである。

新規な機能材料の開発を目的に、ナノメートルスケールでの材料の形態観察・構造評価、さらには組成分析を含めた複合評価の充実を図る装置である。

「海外出張」 平岡麻里講師(共通教育系) 出張先イギリス(3/5〜16) 目的 語学学校視察および日英教育交渉に関する調査

「編集後記」 入学おめでとう。日本工業大学は、諸君を心から歓迎する。諸君は、これからこの緑豊かなキャンパスで、各自それぞれの夢に向かって邁進してください。

これによりヒートアイランド対策の検証の主眼である中心市街地での大気加熱量の評価が可能である。 CADファクトリー 本設備は、機械工学科実験棟の製図室に整備された。ドラフター(製図台)に3次元パソコンを取り付け、これにより製図の基礎である手書きから3次元CADまで一貫した学習体制を整える。さらに、受動的に受講する体制から、学生が自力で各課題を解決しながら学ぶ環境を整備し、設計図教育の充実を図った。

環境配慮の観点から再生紙を使用しております。 平成19年度 文部科学省補助金決定